TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

主は王である　連れ戻す
ヤコブの手紙 5:19-20

2023 年 3 月 4 日&5 日
余沢　武　牧師

I.　イントロダクション

こんにちは。ヤコブは「正しい人の執り成しは、大いに力があり、効果があります。」（ヤコブの手紙 5:16）と言っています。90 歳の母が大動脈解離から回復するよう祈ってくださってありがとうございました。皆さんの祈りがとてもパワフルで効果的であることを証します。ありがとうございます！　そして、神を賛美します

名誉牧師のデニス牧師とジュディが 4 月に再来日します。デニス牧師は 4 月 22 日と 23 日に説教されます。カレンダーに印をつけておいてください。

今日で、ヤコブの学びは終わりです。来週からは、マタイによる福音書からの新シリーズ「王が来られた II」を始めます。ヤコブでは、私たちは次のことを学びました。

神が私たちに与えてくださった唇は、人を批判するためでもなく、自慢するためでもなく、誰かについて文句を言うためでも人を欺くためでもなく、真実を語り、自分の罪を告白し、人の癒しのために祈るためのものです。今日は、もう一つの私たちが唇を使うべきことを見ていきましょう。まず、祈りましょう。

II.　連れ戻す
（1）　魂を救う

ヤコブ 5:19-20 を見ましょう。「私のきょうだいたち、あなたがたの中で真理から迷い出た者を、真理へと連れ戻す人があれば、 20 その人は、罪人を迷いの道から連れ戻し、彼の魂を死から救い、また、多くの罪を覆うことになると、あなたがたは知っていなさい。」

「あなたがたの中で」という言葉から教会にいる人たちについて話していることが分かります。「真理へと連れ戻す人」とは教会の誰かがその人を連れ戻すという意味です。結果、「彼の魂を死から救い、また、多くの罪を覆うことになる」というのは、救いを意味しています。

私たちの唇は、批判、自慢、不平、嘘のために使われてはいけないと指摘した後、唇は真理を語り、罪を告白し、他の人のために祈るために使われることになっています。また、他の人の救いのためにも使われるべきものであると説きました。

奇妙にきこえるかもしれませんが、ヤコブによれば、いわゆる教会に集うクリスチャンの間でもこのようなことが起こるかもしれないというのです。

何年か前、家族で横浜にある釣り施設に行きました。朝早くそこに着きましたが、チケット購入の列と入場ゲートの列の 2 つの列ができていました。そこで、私たちはチケットを買うために 1 番目の列に入り、釣り施設に入場するために 2 番目の列で待ちました。

入場まで約 30 分待ちました。しかし、2 番目の列にいる人の中には、先にチケットを入手する必要があることを知らない人がいることに気づきました。その人たちは、やっとゲートに着くなり、入場を拒否され、他の列に並んで先にチケットを入手するように言われていました。

それは、天国でも同じです。天国に入ると思って並んでいる人が、全員入るわけではありません。ある人は入場を拒否されることがあるでしょう。彼らは「救い」というチケットを持たずに天国に入ろうとしたのです。

ヤコブは、私たちが唇を使って他の人を祝福することができるのは、このような場合であることを思い起こさせます。私たちは、彼らをいのちに導くことによって、「彼らの魂を死から救う」ことができます。

（2）　真理から迷い出る

しかし、どのようないわゆるクリスチャンが真に救われていない、助けを必要としているかもしれないことを、どのようにして知ることができるのでしょうか。19 節を見ましょう。「あなたがたの中で真理から迷い出た者を」と言っています。

ここに大切なヒントがあります。「真理から迷い出る」とは、神の言葉である聖書の真理に反する生活スタイルを示している人たちのことです。つまり「罪」です。

2つの警告。

警告 #1. 私は「罪を人に見せる」と言いましたが、「罪の可能性」や「罪への誘惑」ではないことに注意してください。

20数年前、私はテレビが自分にとって誘惑であることを認識しました。ですから、我が家からテレビをなくしました。テレビを持つことは罪でしょうか？いいえ。でも私にとってそれは「罪への誘惑」なのです。でも、家にテレビがある人に向かって議論をもちかけ、「罪を犯している」と言うことはありません。

YouTubeも同じで、YouTubeが罪に向かわせる誘惑になることは分かっています。ですから、何を見るかはっきりわかっているときだけ見るようにしています。私のYouTubeの利用は最低限です。でも、いつも見ている人に「罪を犯している」と言うつもりはありません。

しかし、聖書によれば、明らかに「罪」である行動があります。

ヤコブは、人をえこひいきすること、批判すること、自慢すること、不平を言うこと、他人を欺くことを挙げています。

その他、現代に蔓延する罪として、激怒、不寛容、性的不品行--男女の婚前交渉または婚姻外の性的関係、ポルノが挙げられます。仲間の信者がこれらの「罪」に繰り返し囚われ、彼らの生活が破壊されているのを見たら、私たちは愛情をもって手を差し伸べます。

警告 #2. これらの罪があるからといって、必ずしもその人が救われないとは限りません。というのは、クリスチャンとして、私たちは皆、まだ罪と闘っているからです。

以前ある姉妹が他のクリスチャンに腹を立てて、他の人の前でその人を中傷しているのを見たことがあります。誰もいないときに、私はその姉妹に「彼女がまちがっていること」そして「相手の人に赦しを請う必要があるのではないか」と優しく言ったことを覚えています。正直なところ気が進まなかったです。

なぜなら、彼女が私に怒りを向けるかもしれないと思ったからです。彼女は何と言ったと思いますか？驚いたことに、 彼女はただ「あなたの言う通りです。私は彼女に赦しを請います」と言いました。そして、彼女はそうしました。罪深い怒りと闘っている間であっても、彼女には神に従いたいという願いがあるのは明らかでした。そして、聖霊が彼女に働き彼女を助けたのです。

本物のクリスチャンは、やはり罪と闘っています。ですから私たちも優しく彼らに手を差し伸べるべきです。でも、このような人たちは、ヤコブが考えていたような人たちではありません。

それは、他の種類の人々です。誰かが個人的に優しく自分の罪を指摘しても、全く反省しない、自分を変えることを望まない人たちです。 それは批判の罪、嘘の罪、不品行の罪であったりします。彼らは自己防衛的になり、怒り、憤りを感じるようになります。

ヤコブの言う真理に立ち返る必要のある人というのはこのような人です。彼らは危機に瀕しているのです

(3)　福音

では、立ち帰るべき心真理とは何でしょうか？　それは福音です。なぜなら、福音をうけとっていない人は、自分を変えるための力が与えられないからです。聖霊の助けがなければ難しいのです。 だからこそ、私が誰かの相談に乗るときは、まずその人に福音を伝え、その人が本当に福音を受け取っているかを確認するのが普通です。

神は宇宙を創造されたとき、「われわれに似せて人を造ろう」と言われました。 そして、私たち男と女を神の姿に似せて、神の愛と人格を共有するように創造されました。だから、神を信頼し、神に従うことで、私たちは、神の被造物すべてを神の愛と神の性質で管理していました。

しかし、神は私たちに試みを与えられました。最初の人間であるアダムとエバをエデンの園に置き、真ん中に「善悪の知識の木」という木を置いて、「その木の実を食べてはいけない、取って食べると必ず死ぬことになる」とおっしゃいました。

しかし、蛇の姿をしたサタンが彼らに**「いや、決して死ぬことはない。それを食べると目が開け、神のように善悪を知る者となることを、神は知っているのだ。」（創世記 3:4-5）**と言いました。要するに、彼は「神を信じるな。彼の言葉に耳を傾けるな。彼はうそをついている。本当に幸せになりたいなら、自分の頭で考えなさい」と言ったのです。

エバはその食べ物を見ました。それは**「食べるに良く、目には美しく、また、賢くなるというその木は好ましく思われた」（創世記 3:6）**ので、彼女はそれを食べました。アダムも食べました。

彼らは、神の言葉ではなく、自分自身や自分の感情や判断を信じ、それに従うことを選んだのです。それが罪なのです。**「人は皆、罪を犯したため、神の栄光を受けられなくなっています」（ローマの信徒への手紙 3:23）**

なぜなら、私たちはすべて神の言葉の信頼し、従うことに失敗したからです。それ故に神の栄光、つまり神の完全な愛と品性を示すことができませんでした。その代わりに、人間の不完全な愛と不完全な品性で被造物を管理するようになりました。

その結果として 私たちは、自分の家族、他の人々、他の国、そして神の被造物全体を傷つけました。私たちは、罪によって、神の被造物を破壊する神の敵となったのです。聖書には、「罪の報酬は死である」と書かれています。神は、神の被造物を救うために、私たちを殺す必要があるのです。

しかし、「完全な愛の神」が、どうして私たちを殺すことができるのでしょうか？　その方法とはこれです。神は、イエスが人間の体をもって地上に来られて、私たちの罪を背負われました。そして、神ご自身が私たちの罪の罰を受けられたのでした。

「完全な愛の神」は、そうやって敵を罰するのです。そして、神は「完了した」と宣言されました。私たちのすべての罪は、神の上で罰せられました。すべて消え去りました。そして、3 日目に神はよみがえられました。

その十字架を前にして、私たちが謙虚に、「私は罪を犯しました。敵のために死ぬほどの愛はありません。私は罪人です」と告白し、その十字架で罰せられたのは、私たちの罪であり、愛の神ご自身であることを受け入れ、神に赦しを求め、悔い改めることを決意し、自分の感情や判断に従うことをやめ、神の言葉を信頼し、従うことを始めるなら―アダムとエバはそれをしないことを選びましたが･･･私たちは赦されます。

神は私たちの中に聖霊を置いてくださるでしょう。そうして神は私たちに人を批判すること、自慢すること、不平を言うこと、嘘をつくこと、不品行に生きることからはなれ、神のみ言葉に信頼し従う力を与えてくださるのです

これが、私たちが救われ、変えられる唯一の方法です。そこで、質問します。「みなさんは、自分の感情や判断から離れ、すべてにおいて神の言葉を信じ、従うことを決意しましたか？」

何でこんなことを聞くのかというと、クリスチャンだと思っていた人たちが、「いや、私はそんな決断をしたことはない」と言うのです。彼らはアダムとエバの罪を理解していませんでした。いまだに悔い改めていないのです。自分の感情や判断をまだ信じています。

しかし、私が彼らに「これからは神を完全に信頼しますか？」と尋ねると　たいていの場合、彼らは「はい」と答えるでしょう。そして、聖霊の助けによって、その人の人生は変わり始めます。私たちが誰かを優しく真理に導くとき、私たちは「彼の魂を死から救い、また、多くの罪を覆うことになる」のです。

「神を知っている」と言いながら、その戒めを守らない者は、偽り者であり、その人の内に真理はありません。（1 ヨハネ 2:4）

もし、みなさんが一度も悔い改めたことがないのなら、ぜひ悔い改め、罪から立ち返り、今日、イエスに自分を許し、変えてくださいとお願いしてください。イエスは、みなさんに御霊を与え、みなさんを内側から変えてくださるでしょう。

あなたはクリスチャンですが、まだいくつかの罪と闘っているのかもしれません。祈り続けてください。あきらめないでください。なぜなら、適切な時期に収穫があり、聖霊がその働きを完成させてくださるからです。

神が私たちに与えてくださった唇は、批判するためでもなく、自慢するためでもなく、不平を言うためでもなく、嘘をつくためのものでもなく、真実を語り、罪を告白し、お互いのために祈り、お互いを回復させるためのものなのです。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg1023jp

★クラス 402
キリストの伝え方
3 月 12 日（日）13:00～17:00
参加条件: クラス 101 を修了した TBC メンバー

★クラス 201
クリスチャンとして成長するために
4 月 15 日（土）13:30～17:30
参加条件: クラス 101 を修了した TBC メンバー

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．日本語字幕オペレーター
月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーを押してめくる作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2．日本語訳字幕作成
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3．週末礼拝メッセージ翻訳
1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org